

平成26年度

住民・議会 意見交換会報告書

地区	月 日	会 場	参加者	議 員 (先頭が班長)
犬川	8月18日(月)	犬川地区交流センター	13人	齋藤修一、佐々木賢一、高橋忠、加藤俊一、高橋照夫、黒澤巖、遠藤章一
吉島	8月19日(火)	吉島地区交流センター	12人	高梨勇吉、金子一郎、島貫徳右工門、淀秀夫、高橋建一、斉藤智志、橋本欣一
玉庭	8月20日(水)	玉庭地区交流センター	15人	高梨勇吉、金子一郎、島貫徳右工門、淀秀夫、高橋建一、斉藤智志、橋本欣一
東沢	8月20日(水)	東沢活性化センター	30人	齋藤修一、佐々木賢一、高橋忠、加藤俊一、高橋照夫、黒澤巖、遠藤章一

所管課	地区	質疑・要望・意見など	質疑への回答・今後の対応など
総務課	犬川	(1)今後の町有施設のあり方について 旧第二中学校の宿泊施設の定員は。	簡易宿泊所と聞いている。定員については後でお知らせする。 ●総務課 平成27年度に旧校舎3階部分を宿泊施設として整備する予定であり、設計上の定員は36名となっている。ただし、宿泊可能人員は、管理上の課題等もあり今後検討が必要である。
	犬川	旧第二中学校は他の施設利用になっているが建設当時の考え方は。	吉島中学校と中郡中学校の建物の老朽化と生徒の減少により、平成8年に第二中学校が開校されたが、学区の再編統合で平成23年に中学校1校となった。建設当時はこのように早く再編になるとは思っていなかった。 何もしなくとも維持管理費がかかる状況の中、町民の方々の考え方を聞いたり、視察研修等、議論、検討してきたが、交流拠点施設としての利用になった。4年間で整備を進めている。
	犬川	無駄になる施設整備はやるべきではないと思うが。 (旧第二中学校の例)	今後、このような事にならないよう議会でも議論し、しっかり取り組んでいく。
	犬川	庁舎を建設していただきたい。	要望として受けとめる。
	吉島	旧第二中学校グラウンドが昨年より荒れてきた。使用料の徴収で 使用が少なくなったのか。	●総務課 現在、嘱託職員1名で施設全体を管理している。ただし、機械設備及び敷地境の草刈等は委託している。
	吉島	旧第二中学校は管理する側でチェックしているのか。	●総務課 管理状況は、毎日の作業日誌等で確認し、その都度現場を確認している。
	吉島	旧第二中学校の利用者の増加を、合宿所はビジネスとして採算 がとれる見込みか。	当局からの具体的な説明はないが、採算のとれる運営を求めたい。
	吉島	旧第二中学校の施設は、テーマを持った施設に(農業青年に よる耕作放棄地対策、加工所、農機具研究など、対象者を絞 った特色ある施設にしては)	
	玉庭	旧第二中学校の利用者数の試算などはあるのか。	冬期間の雪や雨漏りを直さないと利用できないので、多額の改修費をかけても直す必要がある。利用者数の試算は出ていない。

総務課	玉庭	(旧第二中学校の改修だけでなく)事後のフォロー(利用・活用促進の宣伝等)が大切だ。ただの展示だけでなく、研究教材としての生きた資料館に。健康増進のための施設としてもらいたい。目先のことだけ考えるのではなく見えないところに価値を。	提言では1、2年後の検証を義務付けて、点検していく。
	玉庭	玉庭小学校の体育館が新築の予定だが、地滑り地帯の指定地だが。	地滑り地帯の指定は知らなかった。持ち帰らせてもらう。 ●総務課 危険地帯は安全対策を施す必要がある。教育施設は優先度が高く、土砂災害防止対策について引き続き県に働きかけながら学校が安全に運営できるよう努める。
	東沢	旧第二中学校の問題、活用はどうなっているのか。また、人口が減少するなかで、多額の改修工事が行われているが、活用をどう考えているか。	旧第二中学校の跡地利用については、1階は、交流団体が一部活用している。2階は、倉庫的活用(埋蔵資料館の資料、遅筆堂文庫の文庫、資料、非常用の防災、防火等の備品)、3階は、簡易宿泊所、合宿所としての活用など、4年間で19,500万円の改修費を見込んでいる。如何にして施設の有効利活用を図るかが今後の課題である。
	東沢	庁舎の耐震化診断は終了したのか。中央公民館はかなり古いし駐車場が狭い。駐車場の確保を含め、本庁舎、中央公民館、診療所などの整備計画について	庁舎、中央公民館の耐震診断はこれからである。昭和34年に建設された庁舎、昭和42年に建設された中央公民館については、まだ耐震化診断が出ておらず、今後の大きな課題である。駐車場も含め複合化などを議論しているが、平成28年度以降の第5次総合計画に盛り込まれる予定である。
総務課 まちづくり課	犬川	庁舎、中央公民館の整備計画は。	耐震診断により耐震補強が建設になるのかは、耐震診断の結果をみなければわからない。
まちづくり課	犬川	各地区センターの耐震計画は。	今は予定していない。しかし犬川地区交流センターは昭和52年建設されたもので昭和57年以前の建設となるため、耐震診断を今後検討しなければならない。他のセンターも同様となると思う。
	吉島	中央公民館が社会教育の施設として機能しているのか。庄内では中央公民館がまちづくり・学習・研修機能を持ちながら運営されている。中央公民館の位置づけと各地区センターの位置づけをリンクさせる必要がある。	各地区が独自の運営を始めた中で、中央公民館の役割をもう一度見直す時期が来たのでは。
	吉島	交流をコーディネートできる力量が問われる。	
産業振興課	犬川	浴浴センターまどかの営業休止期間は。	平成26年10月20日から平成27年4月20日までの予定である。
	犬川	平成27年予算で浴浴センターまどかのドーム工事だけで5千万円になっているが。	浴浴センターまどかの整備は平成26、27年の2年間で整備となる。ドームを含め一体工事になっているので、ドーム解体だけではない。

産業振興課	玉庭	まどかの改修で黒字転換できるか。改修費の回収のための試算は出ているか。	築20年以上であり、時代に見合った施設とするため、利用者の利便性のための改修である採算の試算はできていない。町民の保養のための位置づけであった。
	玉庭	まどかの加温については薪ボイラーの利用にしてはどうか。	伐採により、新たな産業も生まれる。
健康福祉課	吉島	生きがい交流館のカギの返却が不便である。(シルバーの管理撤退)	状況を把握し報告する。 ●健康福祉課 生きがい交流館の使用については、使用者が役場でカギを受け取り、使用後は役場に返却するように協力いただいている。
地域整備課	犬川	新設の町営住宅は何DKか。	10戸のうち2戸が2DK、8戸が1DKである。
教育総務課	犬川	犬川小学校の耐震診断の計画は。	避難所になっている屋内運動場(体育館)の耐震診断である。 ●教育総務課 平成26年度中に行う。
	犬川	人口減少の中、犬川小学校の統合、学区の再編についての現状は。	現在、「あすの川西町の小学校を考える会協議会」で話し合い検討している。年内に答申が出る予定だ。小学校2校案を視野に入れつつ進めているようだが、議会としては2校にこだわらず検討していただきたいと議会特別委員会での答申を出している。
	犬川	小学校統合は早くしていただきたい。	要望として受けとめる。
	吉島	吉島小学校のプール整備の要望(目地の草むしりが大変)	実態を見ながら当局に要望する。
	吉島	(学校)統合については早く方針を出さないと。	●教育総務課 検討中
	東沢	小学校の統合をどのように進めていくのか。	平成18年の学区再編整備計画では、小学校2校の統合整備計画が公表された。平成25年度では、全小学生778名が平成32年度では645名になる。平成25年度に「あすの川西町の小学校を考える協議会」が設置され、保護者、一般人を対象に懇談会が開催され当初の計画も視野に入れメリット、デメリット、地域との合意形成など検討されているが結論が出ていない。年内に答申が出ると聞いている。
	東沢	小松小学校の新築建替工事の経緯について	公共施設などの耐震化診断が義務づけられ、平成27年度中に終了しなければならないということで、今進められている。川西町は将来学区再編という大きな課題があり、それに合わせながら耐震補強なり、改築を進めればよいと思ひ、当局といろいろ議論をしたが小松小学校は耐震診断の結果、危険な校舎と位置づけられ、今いる子どもたちの安全を最優先に考えて新築工事となった。

企画財政課	犬川	<p>(2)6次産業拠点施設の建設と活用について 施設整備について過疎債を利用すると聞いたが、返済はどうなるのか。</p>	事業費の100%が起債対象となり、償還元金、利子の7割が次年度からの地方交付税に算入される。
産業振興課	犬川	6次産業拠点施設にテナント希望ある場合どうなるか。	テナントではない。会員、登録者が持ちより産直の店となる。
	犬川	施設の冬場の商品、目玉商品の考え方は。	加工物、漬物、弁当がある。冬場は地場産が少ないので大変と思う。市場、仕入先との連携も必要であり、アドバイザー等の指導を受けながら進める。今回、基本設計の説明を受けたが、実施設計に向けて議会としても意見をのべるなどして成功につなげたい。
	犬川	売上目標は。	1億4千万円である。
	吉島	6次産業の拠点づくりではまず運営母体が最初ではないのか。	
	吉島	6次産業施設のMR(マーケティングリサーチ)をしているのか。	
	吉島	運営の試算は出ているのか。(データを開示し、何を根拠に場所規模の決定をしたか。)	
	吉島	産直をベースにした施設は利益が非常に少ない。	
	吉島	ライフスタイル(生活様式)が変わることを(例、あそこに行けば何かがある。)イメージ(連想)させる提案を。	
	吉島	各地区に訳あり商品などを置き、各地区と連携させるやり方が必要なのではないか。(交流センターをサテライト販売所に)	
	吉島	既存のスーパーとの競合、協調をどう図るか。	
	吉島	冬場の運営は、目玉を作るべき。	
	吉島	産直出店(出品者)が高齢化しており、あてがあるのか。	議会には具体的な数字の提示はない。販売目標だけの提示であった、しっかり精査しながら対応していく。
	吉島	試算、集客、数字、が全くない。すでに破たんしているのではないか。	

産業振興課	東沢	米価の大幅な下落、TPP問題など農家を取り巻く環境は大変厳しい。6次産業化していく前に農家の足腰を強くする手立てが必要でないか。今の政府の進めている政策で良いのか、とても6次産業化に行き着かれない。	農家は米価の大幅な下落、様々な施策から厳しい状況下にある。川西町の特産は米、畜産であり販売力、加工などに力をつけ、所得を上げるため、6次産業化をしっかりとやらなければならない。失敗は許されない。踏ん張る力がともに必要である。
	東沢	拠点施設の運営母体はどこなのか。	現在まだ決まっていない。平成26年度早期に運営組織を立ち上げ管理者、責任者については公募も含め進めるとの説明を受けている。施設が赤字にならないか危惧しており、今後も注視していく。
	東沢	用地の取得費と、㎡当りの単価はいくらか。	400万円は基礎設計費である。取得費は総事業費に含まれており9月に実施計画が提示され開発公社との契約となり、平成27年3月議会定例会に提示されるため、現時点では詳細はわからない。
	東沢	拠点施設等の視察研修しての感想は。	成功している例は、しっかりとした運営組織、母体があり、売れる特産品と拠点施設の目玉商品があった。特徴的な産品等模索する必要があると感じた。
	東沢	すぐに儲かる施設ではないので十分検討、議論すべきである。	強く提言し、今後とも注視しながら進めていく。
	玉庭	営農指導などで(販売)物を作るための環境整備が必要では。	
	玉庭	スーパーとの競合で、採算は取れるのか。	販路をきちっとしておくことがカギではないか。十分な意思統一ができていない。施設を作ってほしいという人もいる。多くの方に参加してほしい施設である。
	玉庭	雇用促進につなげてほしい。	
		(3)その他	
まちづくり課	犬川	川西夏まつりの花火は早く終了したが、どうしてなのか。又、花火の協賛者への対応は。	台風11号の影響もあり、東風が強く危険と感じ中止せざるえなかった。花火の協賛者とは取り決めがあり実行委員会で対応されると思う。
総務課	吉島	廃品回収業の対応	冬まではきれいになる予定。(代替え地がないため進まない。)
産業振興課	東沢	若い人のふるさと離れが進んでおり、地域、町が無くなる心配がある。若い人の職場確保、企業誘致が必要であり検討してほしい。	第2次総合計画で小松周辺、吉島尾長島に企業誘致を進めてきた。最近では企業が少しでも安い労賃を求め、グローバル化し難しい環境にある。今後は農業を基盤とした職場確保が必要と考える。
	東沢	栗子トンネルが数年で開通する。川西町への観光客の呼び込みが必要ではないか。	要望として受けとめる。

産業振興課	東沢	地域振興は農業振興でありJAとの連携強化を図り農業振興を強化すべきである。	置賜地方は、JAが合併、行政は自治体の考えから三市五町の行政区であり今後のテーマとして検討していきたい。
産業振興課 農地課	玉庭	猿害がひどい 町道わきの雑木の管理が悪く猿が出るのでは。 イノシシ・熊が出没する。 動物と共生することを考えるべき。かぼちゃ栽培・栃の木植栽などの対策もある。	常任委員会でも話されている。実態を把握し要望していく。
健康福祉課	東沢	ジェネリック薬品を主体とした処方、町一本化できないか。 東沢 診療所、各種検診会場への足の確保のため送迎できないか。また、検診会場を増やせないか。	制度的に不可能であり、患者と医師の関係で処方箋により医療点数等が変動する。担当課で普及活動に努めている。 町の考えを聞いて回答したい。 ●健康福祉課 南陽健診センターで実施する検診(国保ドック、子宮・乳がん検診)については、各地区交流センターから無料で希望者に対し送迎を実施している。 自宅から各地区検診会場までは、デマンド交通の利用をお願いしたい。 検診会場については、検診車の駐車スペース、各種機器を配置するスペースや電源の確保、受診者の駐車場等の関係で各地区交流センター等で実施している。
住民生活課	玉庭	マイマイ蛾の対処は。	具体的な対応策はないとのことでした。持ち帰らせてもらう。 ●住民生活課 町のホームページ(2014.8.8)上で、マイマイ蛾に関する情報を下記の内容で提供している。 1 マイマイ蛾の特徴「卵について・幼虫・成虫」 2 健康被害について 3 防虫・駆除・対策方法について 町では駆除を行っていないので、自宅周りで発見した時はできる限りの駆除に協力してほしい。また、専門の駆除業者を紹介しているので、住民生活課まで問い合わせをお願いしたい。
健康福祉課 まちづくり課	玉庭	老レク、高齢者大学の名称変更の理由は。	●健康福祉課 健康づくりを推進するとともに、多くの方に参加いただけるよう名称を変更した。 ●まちづくり課 40回目を迎えた平成24年に、現行の「高齢者大学」の「高齢者」との表現が新たな受講者の方々から敬遠されることから、新規受講者の拡大、内容充実を目的に改称することとし、運営委員会で数点の候補から「ゆうゆう大学」を選定した。ゆうゆう大学の「ゆうゆう」には2つの意味が込められており、一つは「悠々自適」のゆう。ゆったりと落ち着いた人生を

			<p>過ごしてほしいという意味。もう一つは、「優しい」と「遊ぶ」を合わせ、肩肘はらずに優しく、遊びや楽しむ気持ちをもって、受講していただきたいとの願いが込められている。</p>
教育総務課	吉島	学区再編にかかわる座談会を地区一本のものに。(各階層、団体だけでなく)	うけたまわった。
議会	犬川	議会基本条例の反問権について、これまで施行されてから事例があったか。	反問権については、議会基本条例制定時に視察研修、調査等を行い議論してきた。町長、議会のお互いの信頼関係、誠意をもってあたれば反問権は必要はないとの結論にいたった。
	犬川	議会議員の年齢は若い人はいないが、若者が育たない環境をどう思うか。	若い人が町づくりの中心になるのが当然である。しかし、報酬が市議会議員と違い生活給でないこと、議員年金の廃止、選挙戦等の課題が理由と思われる。
	犬川	来年統一選挙があり、川西町議会選挙が行われるが、町運営に対して議員の意気込みを聞きたい。	町民の声をしっかり受けとめ議会運営に取り組む。
	東沢	議員定数15名に対し、現在14名だが誰が辞めたのか。	昨年参議院選挙に絡み1名失職している。
	東沢	意見交換会では、請願、嘆願等を受付ないというが、これらも住民の意見と思う。また、今回の会議周知について首長が関与するのは納得がいかない。	7月15日発行の議会だよりに掲載し、並びに町長、自治会長から理解を得て町報と一緒に会議周知文を折り込み全戸配布を行った。
	東沢	意見交換会で何を聞きたいのか。	議会基本条例の大きな柱は「町民参加の拡大」と「政策提言」であり、そのツールとして町民との意見交換会を開催している。昨年は、3地区で開催し意見交換会で出た意見をまとめ町長に議会として四つの政策提言を行い回答を載している。
その他	吉島	政策がトップダウンで進んできており、町民、職員が置いてけぼりになっているように見える。	
その他	吉島	町の中で人材のネットワークを構築してもらいたい。	
その他	吉島	行政主導で進めるのはいいが、もっと町民の出番を作っていないと運営疲れが出てくるのではと危惧している。	わかりました。
その他	玉庭	地域に住む人がいるわけだから、合理化で安上りの行政だけではだめなのではないか。	